

# 第3回（平成30年度） 一般社団法人共益型三重県臨床工学技士会 定時総会議案書

日時： 平成30年6月10日（日） 午前11時30分～（受付）

会場： アストプラザ 会議室1（アスト津 4F）

[http://www.ust.city.tsu.mie.jp/f\\_plaza.htm](http://www.ust.city.tsu.mie.jp/f_plaza.htm)

所在地： 津市羽所町700番地 TEL：059-222-2525

交通： [http://www.ust.city.tsu.mie.jp/f\\_access.htm](http://www.ust.city.tsu.mie.jp/f_access.htm)

案内図：





## 第3回（平成30年度）一般社団法人 共益型三重県臨床工学技士会 定時総会

プログラム

11:30～ 受付

12:00～12:45 **第3回定時総会**

第1号議案 平成29年度事業及び収支決算報告承認の件

第2号議案 平成30年度事業計画及び収支予算承認の件

報告事項

総 会 終 了

13:00～ 受付（会場準備）

13:15～13:45 **実態調査アンケート報告**

～今後、三重県臨床工学技士会で開催してほしい勉強会・研修会について～

実態調査委員長 鈴鹿医療科学大学 山田 康晴

14:00～17:00 **第1回血液浄化関連セミナー**

座長 血液浄化班班長 瀬田 直紀

『ダイアライザーを基礎から学ぶ』

- ・透析とダイアライザーの歴史 日機装株式会社
- ・ダイアライザーの基本構造と必要条件 旭化成メディカル株式会社
- ・ダイアライザーの機能分類 東レ・メディカル株式会社
- ・ダイアライザーとヘモダイアフィルター ニプロ株式会社

## 総会審議事項

### 第 1 号議案 平成 29 年度事業及び収支決算報告承認の件

#### 平成 29 年度事業報告

##### 1. 学術技能の研鑽及び資質の向上に関する事業

###### 【学術教育委員会】

###### 血液浄化班

- ・平成 29 年 11 月 5 日（日） グリンパーク津  
第 15 回患者さんの QOL を考える会を開催した。
- ・平成 30 年 2 月 25 日（日） 津地区医師会館  
第 23 回透析座談会を開催した。

###### 呼吸 循環 ME 班（合同班）

- ・平成 29 年 10 月 22 日（日） 鈴鹿医療科学大学  
第 49 回教育セミナー「初級 心電図セミナー」を開催した。
- ・平成 30 年 3 月 4 日（日） じばさん三重  
第 14 回呼吸療法セミナーを開催した。
- ・平成 30 年 3 月 4 日（日） じばさん三重  
医療機関における電波の安全利用に関するセミナー in 四日市を  
開催した。

##### 2. 会報・会誌発行に関する事業

###### 【編集広報委員会】

- ・平成 29 年 6 月 会誌 25 号を発行した。
- ・平成 29 年 7 月 会報 49 号を発行した。
- ・平成 30 年 1 月 会報 50 号を発行した。
- ・平成 30 年 3 月 技士会標章募集を実施した。

##### 3. 組織力強化に関する事業

###### 【実態調査委員会】

- ・平成 30 年 2 月「今後、三重県臨床工学技士会で開催してほしい勉強会・研修会について」を  
テーマにアンケート調査を実施した。

###### 【ホームページ委員会】

- ・新会長挨拶および新役員体制をホームページに掲載した
- ・ホームページを随時更新し、連動して Twitter、Facebook での情報発信も行った。
- ・会員メーリングリスト、理事メーリングリストを管理した。

##### 4. 関連団体との交流に関する事業

###### 【防災対策委員会】

- ・平成 29 年 5 月 20 日（土） 第 27 回日本臨床工学会にて第 1 回日本臨床工学技士会  
災害情報コーディネーター会議に出席した。
- ・平成 29 年 7 月 29 日（土） H29 年度大規模地震時医療活動訓練に併せた三重県透析医会  
災害時メーリングリストを用いた情報伝達訓練を開催した。

- ・平成 29 年 11 月 18 日（土） 第 18 回中部臨床工学会にて中部ブロック災害対策会議に出席した。
- ・行政より「三重県内の透析施設の状況について」の情報提供依頼があり  
三重県透析研究会の協力を得、透析施設実態調査をおこなった。

#### 【Y ボード委員会】

- ・平成 29 年 11 月 18 日（土） 第 9 回 中部 Y ボード会議に出席した。

### 5. その他の事業

#### 【選挙管理委員会】

- ・平成 29 年度は選挙なし。

#### 【理事会・総会】

- ・平成 29 年度 第 1 回理事会開催、平成 29 年 4 月 13 日（木）武内病院
- ・平成 29 年度 第 2 回理事会開催、平成 29 年 5 月 11 日（木）武内病院
- ・第 2 回（平成 29 年度）定時総会開催、平成 29 年 6 月 4 日（日）アストプラザ 会議室 1
- ・平成 29 年度 第 3 回理事会開催、平成 29 年 6 月 4 日（日）アストプラザ 会議室 2
- ・平成 29 年度 第 4 回理事会開催、平成 29 年 7 月 6 日（木）武内病院
- ・平成 29 年度 第 5 回理事会開催、平成 29 年 8 月 3 日（木）武内病院
- ・平成 29 年度 第 6 回理事会開催、平成 29 年 9 月 21 日（木）武内病院
- ・平成 29 年度 第 7 回理事会開催、平成 29 年 11 月 2 日（木）武内病院
- ・平成 29 年度 第 8 回理事会開催、平成 30 年 1 月 25 日（木）武内病院
- ・平成 29 年度 第 9 回理事会開催、平成 30 年 2 月 22 日（木）武内病院
- ・平成 29 年度 第 10 回理事会開催、平成 30 年 3 月 22 日（木）武内病院

#### 【その他】

- ・第 28 回東海透析技術交流会定例総会スプリングセミナー、後援、平成 29 年 5 月 7 日（日）、愛知県
- ・平成 29 年度日本臨床工学会及び総会、出席、平成 29 年 5 月 20 日（土）、21 日（日）、青森県
- ・第 1 回日臨工災害情報コーディネーター会議、出席、平成 29 年 5 月 20 日（土）、青森県
- ・三重県腎友会第 43 回定期総会、祝電、平成 29 年 6 月 11 日（日）、津市
- ・第 12 回東海 CHDF 技術検討会、後援、平成 29 年 8 月 26 日（土）、愛知県
- ・学校法人鈴鹿医療科学大学評議委員会、出席、平成 29 年 9 月 27 日（水）、鈴鹿市
- ・南勢地区透析講演会、後援、平成 29 年 11 月 7 日（火）、松阪市
- ・伊勢志摩ライブ 2017、後援、平成 29 年 11 月 10 日（金）、11 日（土）、伊勢市
- ・第 28 回東海透析技術交流会学術集会、後援、平成 29 年 11 月 12 日（日）、愛知県
- ・第 18 回中部臨床工学会、後援、出席、平成 29 年 11 月 18 日（土）、19 日（日）、福井県
- ・第 18 回中部臨床工学技士会連絡協議会、出席、平成 29 年 11 月 18 日（土）、福井県
- ・第 18 回中部臨床工学技士会代議員会議、出席、平成 29 年 11 月 18 日（土）、福井県
- ・第 7 回三重県 CAPD 講座、後援、平成 29 年 11 月 26 日（日）、津市
- ・三重県透析研究会幹事会、出席、平成 30 年 1 月 23 日（火）、津市
- ・日臨工正会員名簿不突き合い調査、協力、平成 30 年 1 月 26 日（金）
- ・伊勢志摩カテテルアブレーションライブ 2018、後援、平成 30 年 1 月 27 日（土）、伊勢市
- ・第 10 回呼吸ケアと誤嚥ケア学会、後援、平成 30 年 1 月 27 日（土）、28 日（日）、津市
- ・みえ産学官技術連携研究会・第 2 回医療機器検討会後援、平成 30 年 2 月 7 日（水）、鈴鹿市
- ・第 55 回三重県透析研究会、協力、平成 30 年 2 月 11 日（日）、津市
- ・鈴鹿医療科学大学卒業式、出席、平成 30 年 3 月 14 日（水）、鈴鹿市
- ・学校法人鈴鹿医療科学大学評議委員会、出席、平成 30 年 3 月 29 日（木）、鈴鹿市

平成29年度収支決算報告

一般社団法人 共益型三重県臨床工学技士会

1. 貸借対照表  
平成30年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	0	0	0
普通預金	243,521	887,270	△ 643,749
名古屋貯金事務センター	3,866,476	3,214,370	652,106
流動資産合計	4,109,997	4,101,640	8,357
II 負債の部			
1. 流動負債	0	0	0
流動負債合計	0	0	0
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	4,109,997	4,101,640	8,357
正味財産合計	4,109,997	4,101,640	8,357
負債及び正味財産合計	4,109,997	4,101,640	8,357

2. 財産目録  
平成30年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	0		
普通預金 ゆうちょ銀行 (12210-19226361)	243,521		
通常郵便貯金 名古屋貯金事務センター (00820-3-27428)	3,866,476		
流動資産合計		4,109,997	
資産合計			4,109,997
II 負債の部			
1. 流動負債	0		
流動負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			4,109,997

3. 正味財産増減計算書  
平成29年 4月 1日から平成30年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①受取入会金			
受取入会金	13,000	23,000	△ 10,000
②受取会費			
正会員受取会費	1,425,000	1,390,000	35,000
賛助会員受取会費	620,000	640,000	△ 20,000
準会員受取会費	10,000	10,000	0
受取会費計	2,068,000	2,063,000	5,000
③事業収益			
セミナー参加費収入	994,000	1,426,500	△ 432,500
広告収入	200,000	240,000	△ 40,000
事業収益計	1,194,000	1,666,500	△ 472,500
④雑収益			
受取利息	6	69	△ 63
寄付金	5,000	0	5,000
雑収入	2,800	2,800	0
雑収益計	7,806	2,869	4,937
経常収益計	3,269,806	3,732,369	△ 462,563
(2) 経常費用			
①事業費			
セミナー開催費	860,145	807,092	53,053
定時総会開催費	143,679	180,454	△ 36,775
編集広報費	776,193	643,063	133,130
実態調査費	57,772	11,760	46,012
災害対策特別支援費	0	69,627	△ 69,627
選挙管理費	0	49,076	△ 49,076
事業費計	1,837,789	1,761,072	76,717
②管理費			
理事会開催費	488,216	300,940	187,276
事務費	163,544	145,971	17,573
慶弔交際費	10,946	114,872	△ 103,926
旅費交通費	645,956	145,716	500,240
法人管理費	84,628	0	84,628
雑費	30,370	28,590	1,780
管理費計	1,423,660	736,089	687,571
経常費用計	3,261,449	2,497,161	764,288
当期経常増減額	8,357	1,235,208	△ 1,226,851
当期一般正味財産増減額	8,357	1,235,208	△ 1,226,851
一般正味財産期首残高	4,101,640	2,866,432	1,235,208
一般正味財産期末残高	4,109,997	4,101,640	8,357
II 正味財産期末残高	4,109,997	4,101,640	8,357

4. 収支計算書

平成29年 4月 1日から平成30年 3月31日まで

収入の部

(単位：円)

科 目	決算額	予算額	増減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
①入会金収入			
入会金収入	13,000	15,000	△ 2,000
②会費収入			
正会員会費収入	1,425,000	1,400,000	25,000
賛助会員会費収入	620,000	600,000	20,000
準会員会費収入	10,000	0	10,000
会費収入計	2,068,000	2,015,000	53,000
③事業収入			
セミナー参加費収入	994,000	1,500,000	△ 506,000
広告収入	200,000	250,000	△ 50,000
事業収入計	1,194,000	1,750,000	△ 556,000
④雑収入			
受取利息	6	50	△ 44
寄付金	5,000	0	5,000
雑収入	2,800	3,000	△ 200
雑収入計	7,806	3,050	4,756
事業活動収入計	3,269,806	3,768,050	△ 498,244

支出の部

科 目	決算額	予算額	増減
2. 事業活動支出			
①事業費支出			
セミナー開催費	860,145	1,000,000	△ 139,855
定時総会開催費	143,679	150,000	△ 6,321
編集広報費	776,193	800,000	△ 23,807
実態調査費	57,772	20,000	37,772
災害対策特別支援費	0	100,000	△ 100,000
選挙管理費	0	0	0
事業費支出計	1,837,789	2,070,000	△ 232,211
②管理費支出			
理事会開催費	488,216	500,000	△ 11,784
事務費	163,544	300,000	△ 136,456
慶弔交際費	10,946	100,000	△ 89,054
旅費交通費	645,956	400,000	245,956
法人管理費	84,628	100,000	△ 15,372
雑費	30,370	100,000	△ 69,630
管理費支出計	1,423,660	1,500,000	△ 76,340
事業活動支出合計	3,261,449	3,570,000	△ 308,551
当期一般正味財産収支差額	8,357	198,050	△ 189,693
前期繰越一般正味財産収支差額	4,101,640	4,101,640	0
次期繰越一般正味財産収支差額	4,109,997	4,299,690	△ 189,693



# 監査報告書

一般社団法人  
共益型三重県臨床工学技士会  
会長 中村 博一 殿

一般社団法人  
共益型三重県臨床工学技士会

監事 波田 光司 

監事 佐性 喬 

私たちは、平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの平成 29 年度会計年度における一般社団法人共益型三重県臨床工学技士会の業務及び財産の状況について、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 99 条及び定款第 27 条に基づき監査を行い、次のとおり報告する。

## 1. 監事の監査の方法及びその内容

- (1) 私たちは、理事会及びその他の重要な会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検証した。
- (2) 私たちは、会計帳簿並びに関係書類など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）の正確性を検討した。

## 2. 監査意見

- (1) 計算書類は、法令及び定款に従い、本法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。
- (2) 事業報告は、法令及び定款に従い、本法人の状況を正しく示しているものと認める。
- (3) 理事の業務執行に関する不正の行為及び法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

## 第 2 号議案 平成 30 年度事業計画及び収支予算承認の件

### 平成 30 年度事業計画

#### 1. 学術技能の研鑽及び資質の向上に関する事業

##### 【学術教育委員会】

将来的に一般社団法人共益型三重県臨床工学技士会主催の学術大会を開催すべく、役員全体で運営面等の know-how の蓄積、体制構築に向けて学術大会における準備委員会を立ち上げ事前準備を行う。

##### 血液浄化班

年間 3 回程度の勉強会を開催する。

- ・平成 30 年 6 月 10 日（日）、アストプラザ  
第 1 回血液浄化関連セミナーを開催する。
- ・日時未定、場所未定  
第 16 回患者さんの QOL を考える会を開催する。
- ・日時未定、場所未定  
第 24 回透析座談会を開催する。

##### 呼吸・循環・ME 班（合同班）

- ・平成 30 年 4 月 22 日（日）、鈴鹿医療科学大学  
第 1 回循環器関連セミナーを開催する。
- ・平成 30 年 9 月 9 日（日）、鈴鹿医療科学大学  
第 50 回教育セミナー「初級 心電図セミナー」を開催する。
- ・平成 30 年 12 月 16 日（日）、鈴鹿医療科学大学  
第 51 回教育セミナー「中級 心電図セミナー」を開催する。
- ・平成 31 年 3 月上旬、じばさん三重（予定）  
第 15 回呼吸療法セミナーを開催する。
- ・日時未定、場所未定  
第 1 回 ME 関連セミナーを開催する。

#### 2. 会報・会誌発行に関する事業

##### 【編集広報委員会】

- ・平成 30 年 5 月 会誌 26 号を発行する。
- ・平成 30 年 6 月 技士会標章の選定結果を定時総会で発表する。
- ・平成 30 年 7 月 会報 51 号を発行する。
- ・平成 31 年 1 月 会報 52 号を発行する。

#### 3. 組織力強化に関する事業

##### 【実態調査委員会】

- ・実態調査（アンケート）を実施し、三重県臨床工学技士会定時総会後に調査結果を報告する。

##### 【ホームページ委員会】

- ・三重県透析医会「災害時メーリングリスト」の運営に協力する。
- ・ホームページレイアウト（デザイン）変更する。またホームページを随時更新させ、技士会活動のアピールと会員にとって有益な情報を提供する。
- ・会員向けメーリングリストは、会員相互のコミュニケーション手段として継続運営する。  
また、twitter, Facebook, 他の SNS などの有効な活用法も検討する。
- ・中部連絡協議会ホームページ担当者を 1 名推薦した。

#### 4. 関連団体との交流に関する事業

##### 【防災対策委員会】

- ・ JHAT との協力体制を確立していく。
- ・ 三重県透析医会「災害時メーリングリスト」を用いた訓練、衛星携帯電話を用いた施設間通話確認を実施する。
- ・ 行政との連携強化を図る。

##### 【Y ボード委員会】

- ・ 中部 Y ボード会議および中部臨床工学会に参加する。
- ・ 日本臨床工学技士会組織委員会からの有益な情報等を会員へ周知・提供する。
- ・ 平成 30 年 6 月 10 日（日）、レストランバーカマヤン 第 1 回会員親睦会を開催する。

##### 【その他】

- ・ 東海地域の医療機関における電波利用連絡推進協議会に参加する。
- ・ 技士会より構成員 1 名を推薦した。

#### 5. その他の事業

##### 【選挙管理委員会】

- ・ 平成 31 年 3 月末の役員任期満了を控え、次期役員選挙を実施する。

##### 【理事会・総会・その他】

- ・ 理事会の開催（各月）、各委員会の開催（随時）
- ・ 平成 30 年 4 月 12 日（木）平成 30 年度 第 1 回理事会開催
- ・ 平成 30 年 5 月 10 日（木）平成 30 年度 第 2 回理事会開催
- ・ 平成 30 年 5 月 27 日（日）平成 30 年度（公社）日本臨床工学技士会総会、出席
- ・ 平成 30 年 6 月 10 日（日）第 3 回（平成 30 年度）定時総会開催
- ・ 平成 30 年 6 月 10 日（日）平成 30 年度 第 3 回理事会開催

平成30年度収支予算

一般社団法人 共益型三重県臨床工学技士会

5. 収支予算書

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

収入の部

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算	増減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
①入会金収入			
入会金収入	15,000	15,000	0
②会費収入			
正会員会費収入	1,450,000	1,400,000	50,000
賛助会員会費収入	600,000	600,000	0
準会員会費収入	0	0	0
会費収入計	2,065,000	2,015,000	50,000
③事業収入			
セミナー参加費収入	1,500,000	1,500,000	0
広告収入	200,000	250,000	△ 50,000
事業収入計	1,700,000	1,750,000	△ 50,000
④雑収入			
受取利息	10	50	△ 40
寄付金	0	0	0
雑収入	3,000	3,000	0
雑収入計	3,010	3,050	△ 40
事業活動収入計	3,768,010	3,768,050	△ 40

支出の部

科 目	予算額	前年度予算	増減
2. 事業活動支出			
①事業費支出			
セミナー開催費	1,000,000	1,000,000	0
定時総会開催費	150,000	150,000	0
編集広報費	900,000	800,000	100,000
実態調査費	50,000	20,000	30,000
災害対策特別支援費	100,000	100,000	0
選挙管理費	50,000	0	50,000
事業費支出計	2,250,000	2,070,000	180,000
②管理費支出			
理事会開催費	500,000	500,000	0
事務費	200,000	300,000	△ 100,000
慶弔交際費	50,000	100,000	△ 50,000
旅費交通費	500,000	400,000	100,000
法人管理費	50,000	100,000	△ 50,000
雑費	50,000	100,000	△ 50,000
管理費支出計	1,350,000	1,500,000	△ 150,000
事業活動支出計	3,600,000	3,570,000	30,000
当期一般正味財産収支差額	168,010	198,050	△ 30,040
前期繰越一般正味財産収支差額	4,109,997	4,101,640	8,357
次期繰越一般正味財産収支差額	4,278,007	4,299,690	△ 21,683

## 報告事項

### 1. 定款施行細則の追加及び改正について

- ・ VII. 講師等謝礼規程 第 4 条を一部追加改正する。(波線が追加・改正箇所)

第 4 条 前 2 条に基づき講師謝礼額の上限を下表に示す。

講演料 ￥50,000 (1 時間あたり)

但し招聘座長については、前払式証票￥3,000 (交通費を含む)

原稿料 ￥10,000

宿泊料 ￥10,000

交通費 実費 (但し自家用車使用の場合は出張旅費規定に準ずる)

- ・ X. 表彰規定を追加する。

第 1 条 この規程は、本会の定款第 4 条の事業目的達成に貢献し、本会の発展 に寄与した者で、本会の表彰及び本会以外が主催する表彰について、 個人及び団体を推薦し賞賛することを目的にこれを定める。

第 2 条 本規程の表彰は次の通りとする。

(1) 功労賞

(2) 感謝状

第 3 条 種別並びに基準は次の通りとする。

(1) 功労賞

①本会の発展に顕著な功績があった者

②本会の名声を高揚する研究、発明又は考案を行った者

③特に他の模範となる善行があった個人又は団体

(2) 感謝状

①本会のため献身的に会務を精励し顕著な功績があった個人又は団体

②本会会員以外で、本会の目的に賛同し本会の発展に寄与した個人又は団体

第 4 条 表彰の申請は、表彰対象となる者の推薦状を本会会員が理事会に提出し、理事会にてこれを審査決定するものとする。

第 5 条 表彰は、毎年定時社員総会または記念式典で行うものとする。ただし、会長が特に必要があると認められた時は、臨時に行うことができる。

2 本会以外が主催する表彰については、その団体の規程によるものとする。

第 6 条 この規程以外に特別な事情が生じた時は、理事会で決定する。

第 7 条 この規程は、理事会の議決を経なければ変更することができない。

### 2. 技士会標章の選定結果について

- ・ 入選作品(1 点) :

- ・ 次点作品(2 点) :

### 3. 技士会組織図について

